

主題や題材の内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校 3 学年 〈光村図書 版〉

【主題名】 「自分も友達も大切にするために」 （4 時間扱い）

使用教材：「大切なものはなんですか」「日曜日の公園で」「よわむし太郎」「道夫とぼく」

【養う道徳性 ※関連する内容項目等】

- ・人間の生命の尊さについて考えを深め、誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接する道徳的な心情を養う。
- ・ A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 B 相互理解, 寛容 C 公正, 公平, 社会正義 D 生命の尊さ

【主な学習活動と留意点】

児童の実態 ※肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方

誰に対しても分け隔てなく関わる姿が見られるものの、気に入った友だちとの関わりばかりを求めようとする子ども。

動かせる見方・考え方：様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。

	学習活動	配慮点（各教科等、体験活動等との関連）
問題意識を共有する	<p>1 教材名「大切なものはなんですか」D 生命の尊さ（6 月） 中心的な発問 アゲハチョウが言う「もっと大切なもの」とは、なんだと思いますか。それは、どうして大切なんだろうか？</p> <p>話し合いの工夫 説話の工夫</p> <p>主題「自分も友達も大切にするとはい？」を設定</p>	<p>大切なものについて話し合う中で、自分と同様に生命あるものは全て尊いものであることを実感できるようにする。</p>
	<p>2 教材名「日曜日の公園で」 B 相互理解, 寛容（7 月） 中心的な発問 ぼくが、タクヤと仲良くするためにどんなことが大切でしょう？</p> <p>話し合いの工夫 説話の工夫</p>	<p>仲良くするために大切なことを話し合うことで、自分の思いを優先してしまう人間の弱さがあることも共有しながら、相手から理解を得られるように思いを伝える気持ちをもてるようにする。</p>
自分自身との関わりで・多面的・多角的に考える	<p>3 教材名「よわむし太郎」A 善悪の判断, 自律, 自由と責任（10 月） 中心的な発問 よわむし太郎という名前が消えたのは、どうしてだと思いますか？</p> <p>役割演技の工夫 話し合いの工夫</p>	<p>役割演技で実感した思いを話し合う中で自ら正しいと信じているところから誠実に行動することのよさを実感できるようにする。</p>
	<p>4 教材名「道夫とぼく」C 公正, 公平, 社会正義（1 月） 中心的な発問 誰に対しても公平に接するためには、どんな気持ちが必要だと思いますか？</p> <p>板書の工夫 話し合いの工夫</p> <p>主題「自分も友達も大切にするとはい？」を自己評価</p>	<p>分け隔てなく関わることの難しさについて話し合う中で、誰に対しても公正、公平な態度で接することの大切さについてこれまでの追求を生かして考え合うようにする。</p>

体育
G 保健
(1) 健康な生活について

学級活動
(1)
イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

学級活動
(2)
イ よりよい人間関係の形成

次学年へのつながり（児童に願う姿）

自分と同様、生命あるもの全てが尊いものであると実感し、偏ったものの見方や考え方を避けるよう努め、誰に対しても分け隔てなく接しようとする態度を養う。